

2019年11月の望遠鏡観測の結果を(表-1)に示します。今月は、いつもの寺迫氏から観測報告がありました。

観測者 Observer	観測地 Locality	夜数 Night	時間 Time	流星数 Meteor			備考 Remarks
				Plot	S' n	Total	
寺迫 正典 (Terasako Masanori)	静岡県浜松市北区 (Hamamatsu shizuoka-pref)	3	205	-	32	32	25cm×51 1.4° L.T. 15cm×25 2.7°Bino.
2019年12月計		3	205	0	32	32	HR 9.4

(表-1) 2019年12月望遠鏡観測結果

Table 1 Summary of the Telescopic Meteor observations in December, 2019

● 出現数変化

2019年12月の出現数変化を(表-2)に紹介します。

UT																						
日	開始	JST	終了	JST	分	中央時	観測方向 (Direction)	Plot	Seen	Total	HR	Mag	See	CI					観測者 (Observer)			
1	17	33	18	28	55	1.375	Oph,Ser,Sct,Aql,Sgr,Cap,Mic,PSA,Gru,Tel	-	5	5	5.5	10.5	M		15cm Bino. *25				寺迫 (Terasako.M)			
7	28	16	29	16	60	7.824	LMi,Leo,Sex,Hya,Ant,Vel	-	22	22	22.0	13.0	vG		25cm L.T. *51				寺迫 (Terasako.M)			
7	29	20	29	50	30	7.858	Hya,Lib,Ser,Oph,Her	-	0	0	0.0	11.0	rG		15cm Bino. *25				寺迫 (Terasako.M)			
28	28	57	29	57	60	28.852	Her,Oph,Ser,Lib,Sco	-	5	5	5.0	11.0	rG		15cm Bino. *25				寺迫 (Terasako.M)			
3 Night				205 Min.				0	32	32	9.4											

(表-2) 2019年12月の望遠鏡流星の出現数変化

Table 2 Telescopic Meteors Observational data in December, 2019

● 光度分布

2019年12月の望遠鏡流星の光度分布は、(表-3)に示すとおりです。

	-5.0	-3.0	-2.0	-1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	L-Mag	Total	Avg Mag.
寺迫 (Terasako.M)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	5	4	5	12	2	10.5 - 12.5	32	10.56
<b>Total</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	5	4	5	12	2		32	10.56

(表-3) 2019年12月の望遠鏡流星の光度分布

Table 3 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in December, 2019

寺迫氏から、12月の観測についてのコメントが寄せられていますので、以下に紹介します。

7/8は大変視程が良く、北極標準星野で13.0等級が余裕で見えました。普段、浜松市街の明かりで敬遠しがちな南向向の、自称「ゼニス・クロス」観測を行いました。やや期待感を持ちましたが、結果的にはHR22.0とごく普通の出現でした。しかし、25cm反射で、視野中心付近に13等級の流星を初めて観測することが出来たのは、大きな成果でした。14/15「ふたご座流星群」を狙って準備をしておりましたが、薄雲が常に視界を覆い、おまけに月光にさらされ、とても微光流星の観測は困難と判断し、止む無く中止をしました。本日1/4早朝「しぶんぎ座流星群」のテスト観測を行い、それと、おぼしき流星が見られましたが、本番ではどんな結果となるのでしょうか？楽しみです。

● 幹事から

寺迫氏のコメントから12月は浜松地方は天気恵まれなかった様子がよく分かります。幹事の住む東北地方では、比較的天気が良かったのですが、肝心の双子群の極大付近は雲が多く飛来し曇るなど、11月に実施した観測を行うことができませんでした。

暖冬で雪が少なく通勤が楽なのはありがたいですが、このまま地球はどうなるのか心配です。流星会議の準備を始める時期ですが、ほとんど私の頭の中にあるだけで、そろそろ天文回報にアナウンスを始める時期でしょうか。4月発行の天文回報に掲載するように準備を始めます。なお、一般の研究発表は、8月23日の午前中に行う計画です。山本真行氏の講演と古川黎明中学校・高等学校の研究発表を22日の午後を計画しています。学生(高校生・大学生ほか放送大学)は、参加費を減免します。幹事一人で準備をしていますので、至らないこと多々あると思います。お許し下さい。